

発行所 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

京都総評



京都地方労働組合総評議会：発行

第 240 号

主な日程

- 2月18日（火） 最賃アップアクション学習会
19:00 ラポール京都
- 2月18日（火） 争議支援・労働法制宣伝
18:00 四条烏丸
- 2月19日（水） 19の日行動街頭演説・デモ
18:30 京都市役所前
- 2月28日（金） 全厚生不当解雇撤回京都支援共闘総会
18:30 ラポール京都

20春闘勝利へ

大幅賃上げ・賃金底上げの世論を大きく

20春闘がスタートしました。「8時間働けばまとも暮らし」賃金の獲得や最低賃金の大幅引き上げを求める世論を府内一円で大きく盛り上げる「一斉ターミナル宣伝」「地域総行動」に単産・地域一体で取り組みましょう。

あげることをめざして、単産・地域・公務・民間一体でたたかきましょう。

だれでも月額2万5000円以上、時間額150円以上の賃上げを求めよう。

2020春闘 京都総評の要求基準

- だれでも月額2万5000円以上、時間額150円以上の賃上げ
- 時間額1000円未満の労働者をなくす
- 時間外労働の上限を週15時間、月45時間、年360時間までに
- 11時間以上の勤務時間インターバルの実現

・地域・職場で全組合員参加の要求討議を旺盛に行い、賃上げ要求を提出して実現をめざしましょう。



リニューアルした春闘リーフ

ましよう。

府内一円で賃上げの世論を大きく

20春闘方針と要求基準を決定
昨年の春闘討論集会で提起した20京都国民春闘方針案を職場・地域で議論し、京都総評の要求基準と合わせて、2月6日に行なった「京都総評・京都国民春闘共闘」20春闘単産代表者会議」で決定しました。

20春闘では、「8時間働けばまとも暮らし」賃金を！「人間らしく働くために、労働時間の短縮、いのちと健康を守るろう！」「最賃15000円は当たり前！均等待遇の実現を！」などのスローガンを掲げ、「全組合員参加の要求討議と要求提出」を重視し、ストを含む統一行動を配置し

てたたかうこと、最低生計費試算調査（生活実態調査）結果に確信を持ってべア要求を掲げて大幅賃上げを勝ち取ることを、職場の非正規労働者との対話を重視し、均等待遇の実現や正規雇用への転換など非正規労働者の要求をかねてきたこと、春闘期のたたかいは0円以上の賃上げ」を決定しました。

最低賃金要求は最低生計費試算調査（生活実態調査）結果を踏まえて、要求基準と最低生計費「時間額1500円以上」を要求し、いままぐ時間

「時間外労働は週15時間、月45時間、年360時間までとする」と「11時間以上の勤務時間インターバルを実現すること」を求めています。

20春闘前半のヤマ場の取り組みとして、2月20日（木）に「春の地域総行動」と「一斉ターミナル宣伝」に取り組みます。一斉ターミナル宣伝は、府内16カ所で行い、公務・民間・地域が一体となつて労働者・市民に「8時間働けばまとも暮らし」賃金を！「最低賃金15000円」と呼びかける取り組みです。

この数年派遣労働者の派遣切り、18年問題として働き方改革と相次いで労働者へ難題が投げかけられてい

貴重な経験を 得た市長選挙

大激戦となった京都市 市長選挙は、2月2日に投票されたが、私たちが推した福山和人が16万1188票（得票率34.6%）

勝利することはできませんでした。私たちがたたかいて通じた、①要求に徹して、市民との双方でマニフェストと「すべやるパッケージ」をつくらせたこと、②「労働者・市民のフットコをあたためて循環型経済」という私たちがめざしてきた政策・要求が太い流れになったこと、③市民や政党、民主市政の会に参加する労組・団体が対等に力を合

わせる「草の根野党共闘」が進化・前進したこと、④「共産党の市長は『NO』の新聞広告に

市民を丸ごと全力応援の政治めざして

介護保険認定給付業務の委託化での解雇問題など、京都市政の理不尽とたたかう課題が山積みです。「すべやるパッケージ」やマニフェストで明らかにした要求と政策の実現に向けて、いっそう運動を強めていきたいと思います。

今回の選挙戦で得た経験と財産を手に、「住民こそ主人公の自治体」「市民を丸ごと応援の政治」をめざして奮闘しましょう。

2月3日に行われた市長選挙報告集会で、福山和人は「市民が政治をつくらせよう」という流れを押し止めることはできないし、この流れは定着していきと思っています。これを京都からつくりだせたい」とあきつ。「つなぐ京都2020」共同代表の守田敏也さんは「これからは福山さんの『す

福山和人さん 大健闘



市長選挙報告集会での福山和人さん

市民が政治をつくる流れ確信に

せんでしたが、私たちがたたかいて通じた、①要求に徹して、市民との双方でマニフェストと「すべやるパッケージ」をつくらせたこと、②「労働者・市民のフットコをあたためて循環型経済」という私たちがめざしてきた政策・要求が太い流れになったこと、③市民や政党、民主市政の会に参加する労組・団体が対等に力を合

わせる「草の根野党共闘」が進化・前進したこと、④「共産党の市長は『NO』の新聞広告に

市民を丸ごと全力応援の政治めざして

介護保険認定給付業務の委託化での解雇問題など、京都市政の理不尽とたたかう課題が山積みです。「すべやるパッケージ」やマニフェストで明らかにした要求と政策の実現に向けて、いっそう運動を強めていきたいと思います。

今回の選挙戦で得た経験と財産を手に、「住民こそ主人公の自治体」「市民を丸ごと応援の政治」をめざして奮闘しましょう。

2月3日に行われた市長選挙報告集会で、福山和人は「市民が政治をつくらせよう」という流れを押し止めることはできないし、この流れは定着していきと思っています。これを京都からつくりだせたい」とあきつ。「つなぐ京都2020」共同代表の守田敏也さんは「これからは福山さんの『す

決意する。(KM)

TUBUYAKI

この数年派遣労働者の派遣切り、18年問題として働き方改革と相次いで労働者へ難題が投げかけられてい

支援を訴える石田尾分会長（昨年の団結まつりで）



五大エンボディ(佐藤忠弘社長)は、労組結成を逆恨みした工場閉鎖・全員解雇を撤回し、経営責任を果たせ

JMITU京滋地本五大エンボディ分会

五大エンボディ不当解雇事件

勝利をめざし、控訴してたたかう 京都地裁で不当判決

JMITU五大エンボディ分会

不正な、2019年4月から、すべての企業において、年10日以上有給休暇が付与される労働者(管理監督者、有期雇用労働者を含む)に対し、年次有給休暇の日数のうち年5日について、使用者が時季を指定して取得させることが義務付けられました。少なくとも年5日は、年次有給休暇の取得が制度的に確保されることになり、5日以上の年次有給休暇を請求・取得している労働者に対しては、使用者による時季指定をする必要はなくなり、また、することもできません。自分できちんと年次有給休暇を申請して休んでいる労働者には関係がないといえます。

不当判決は断じて認められない

五大エンボディ(株)

不当解雇撤回と地位保全を求める裁判で、京都地裁は2月7日の判決で労働者の主張を認めることなく、会社の主張をほぼ認めた不当な判決を言い渡し、原告側の主張を退け棄却しました。

裁判所は、解雇4要件の一つ、経営不振を打開するための解雇であることと認め、それ以外の要件には触れず、解雇回避努力に何の努力もしていない

本社工場閉鎖・解雇は組合つぶし

五大エンボディ(株)

(京都市南区上鳥羽、代表取締役社長 佐藤忠弘)は、医薬品の外観検査装置や福祉医療機器などの製造販売を業とする株式会社で、京都市に本社を置き、同じ京都に関連会社、長野県に駒ヶ根研究開発センターを展開している、従業員は京都

ない会社に対して希望退職などは退職金の上積みなど経費がかさむとして



これにより、労働者の働きすぎを防ぎ、きちんとした休息が取れるようになることを期待されています。もちろん、元々就労日ではなかった日を今回就労日とし、その日を時季指定して年次有給休暇を取得させるような方法は、制度趣旨にも反しますし、そもそも労働条件の不利益変更として違法・無効となる可能性もあります。法の趣旨を全うし、労働者がきちんと休暇を取れるような職場とするための取り組みも大切になってきます。

2020年バイバイ原発3.7きょうと

とき 2020年3月7日(土)
13:00開場 13:30開会
15:00デモ出発

ところ 円山公園音楽堂

内容 講演「福島原発事故の責任は東京電力旧経営陣にある」
武藤 類子さん(福島原発告訴団団長)
怒りのスピーチ 他
主催 バイバイ原発きょうと実行委員会

2020年さよなら原発3.8 京都北部集会in綾部

とき 2020年3月8日(日)
14:00開会
15:30街頭アピール出発

ところ 綾部1・Tビル2階

内容 高浜町からの報告
渡邊 孝さん(高浜町会議員)
各地の取り組み紹介 他
主催 さよなら原発3.8京都北部集会実行委員会

若狭の原発動かすな！ 原発ゼロの実現を！
福島におもいをはせ、みんなで行動しよう！

免罪しています。また、証人尋問で佐藤社長自ら認めていた、労働組合に対する不当労働行為性について詳細に触れることなく不問にしました。この不当な判決は到底受け入れることはできません。大阪高裁に控訴してこれからもたたかい続けます。

った京都本社を閉鎖する一方、労働組合のない駒ヶ根研究開発センターと、関連会社を残しての解雇でした。この解雇で京都の従業員のうち6人

の組合員が同年12月に京都地裁に提訴してたたかってきました。これからも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



『その島のひとなちは、ひとつの話をきかない』

化学一般京滋福地方本部 副執行委員長 川口 貴裕

精神科医の著者が、日本の自殺希少地域を訪ね、なぜその地域は自殺が少ないのか？生きやすさとは何なのか？をテーマとして旅をしていく。

人間関係は緊密ではないという。あいさつや立ち話程度の付き合いのほうが多いという。

人と人が助け合う癒しのような地域が自殺希少地域であろうと想像していたが、そうではなく、その地域の



書名・その島のひとなちは、ひとつの話をきかない
出版社・青土社
著者・森川すいめい
定価・1540円(税込み)

北欧では対話をして精神を病んだ人を治療していく「オーランダイアローグ」という方法がある。この地域ではその治療法が日常生活のことではないか。生きやすさ暮らししていく答えがそこにあるのではと思った。

全厚生不当解雇撤回京都支援共闘会議 まとめの総会

日時 2月28日(金) 18:30から 会場 ラポール京都第7会議室

全厚生不当解雇撤回の裁判闘争は全国すべての裁判が集結し、一定の区切りを迎えます。京都支援共闘会議のまとめの総会を行います。闘争団の労をねぎらい、新たなたたかいへの決意を固めたいと思います。積極的な参加をお願いします。